

授業科目名： 学校ボランティアⅠ （初等）	教員免許取得のための 選択科目	単位数： 1単位	さいとうのりこ 担当教員名：齋藤憲子・ しまだ まさる さかたえいこ 嶋田 優・坂田映子
			担当形態：オムニバス
実務内容 （実務家教員の場合）	小学校教諭として勤務経験を持つ教員が、学校現場の実情とそこに求められる意欲、姿勢等を指導する。		
科 目	大学が、独自に設定する科目		
各科目に含めることが 必要な事項	なし		
「学位授与の方針」との関係			
星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。			
A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。			
B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。			
C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。			
D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。			
E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。			
F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ：			
○学校ボランティアで得た「体験」を振り返り、「自己を深く考える」ことを通して、よき教育者及び自立した社会人を目指す。			
○実体験をすることで、学校や児童についてより深い理解をする。			
○学校ボランティア活動に参加・体験した経験から、教職に対する自己の適性について考える。			
授業の概要：			
学校ボランティアⅠは、1年次から3年次に受講する学校体験活動である。保育・教育実習の体験活動として、運動会、遠足等の手伝いや付き添いを中心に年間数回の体験活動を行う。日ごろ学生が目にする事のない教員の仕事や児童とのふれあいを体験し、学校現場の理解を深めたり、自身の適性について考えたりする機会とする。			
与えられた課題についてレポートを作成し提出する。また、学習のまとめとして紙面発表の機会を設け、活動を次の学生に伝えるときにも教育実習への意欲を持つ。			

授業計画

第1回：オリエンテーション

第2回：学校ボランティアIの意義

第3回：学校ボランティアIの目的と課題についての説明

第4回：学校ボランティアI参加心得①

(服装、身なり、言葉遣い、やむを得ず欠席する場合、禁止事項)

第5回：学校ボランティアI参加心得②

(訪問の手順、手続き・提出書類、実習計画表、学校ボランティアI後のお礼状)

第6回：教員の活動から学ぶこと

(課題について考えを述べるとともに、活動の記録をとり提出)

第7回：児童生徒の活動から学ぶ(同上)

第8回：地域との係わりから学ぶ(同上)

第9回：学校と保護者の関係から学ぶ(同上)

第10回：学校ボランティアIの振り返り①(GWでの交流)

第11回：学校ボランティアIの振り返り②(交流の共有)

第12回：学校ボランティアIを通して次へ：伝えたいもの(GWでの交流)

第13回：発表①(体験を文章等にまとめるための準備)

第14回：発表②(学校ボランティアでの体験をまとめ提出する)

第15回：まとめ(取り組みの振り返りをする)

※第1回から第5回までは
オンデマンドにより学修する。

*スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

教科書

「教員を目指す人のためにー初等教育編ー」

参考文献

・特になし

学生に対する評価

学校ボランティアI活動記録(50%)、科目修得試験(50%)を総合して評価する。